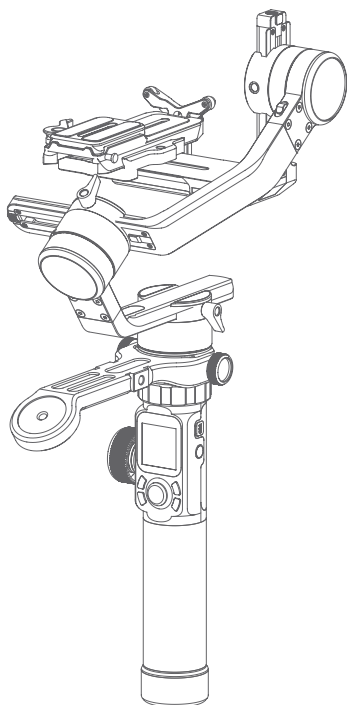




# Manfrotto

## Imagine More



取扱説明書  
MVG460

# 目次

1. 製品概要.....	4
2. 使用を開始する.....	7
2.1 バッテリー充電.....	7
2.2 バッテリー挿入.....	7
2.3 ハンドルの取り付け.....	8
2.4 ポジションロック.....	8
2.5 多目的アームの取り付け.....	9
2.6 カメラの設置.....	10
2.7 ジンバルのバランス調整.....	11
2.8 電源オン/オフ.....	13
2.9 Manfrotto Gimbal Appのダウンロード.....	13
3. アプリの接続.....	14
4. 各種機能の操作.....	15
4.1 機能/モード概要.....	15
4.2 ボタン操作概要.....	16
4.3 USBポート.....	20
4.4 タッチスクリーン.....	21
4.5 各種モードの設定.....	22
4.6 自動回転モード.....	24
4.7 ジンバルの初期化.....	26
4.8 手動ロック.....	27
5. Wi-Fiを介したカメラへの接続.....	28
6. 付属品概要.....	29
6.1 付属品.....	29
免責事項.....	30

## 概要

MVG460は、DSLRおよびミラーレスカメラ用に設計されたプロフェッショナル向け3軸ジンバルです。市販されている多くのカメラに対応しています。取り外し可能で多用途なアームハンドルを備えており、片手やローアングルでの撮影にも対応できるほか、三脚やその他のアクセサリにも取り付け可能です。

MVG460にはファンクションボタンとLCDタッチスクリーンが備わっており、ジンバルの機能モード切り替え、回転制御、パラメータ設定を片手で行うことができます。付属のカメラシャッターケーブルで、撮影、録画、フォローフォーカス操作をジンバル上で直接コントロールすることができます。



Manfrotto Gimbal Appをダウンロードしてご利用ください



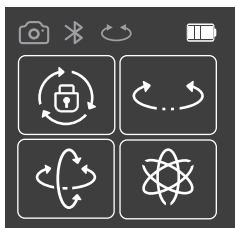
# 1. 製品概要

## 概要

一眼レフカメラやミラーレスカメラ用に設計されたプロ仕様の3軸ジンバルで、ファンクションボタンとLCDタッチスクリーンを搭載しています。

### タッチスクリーン

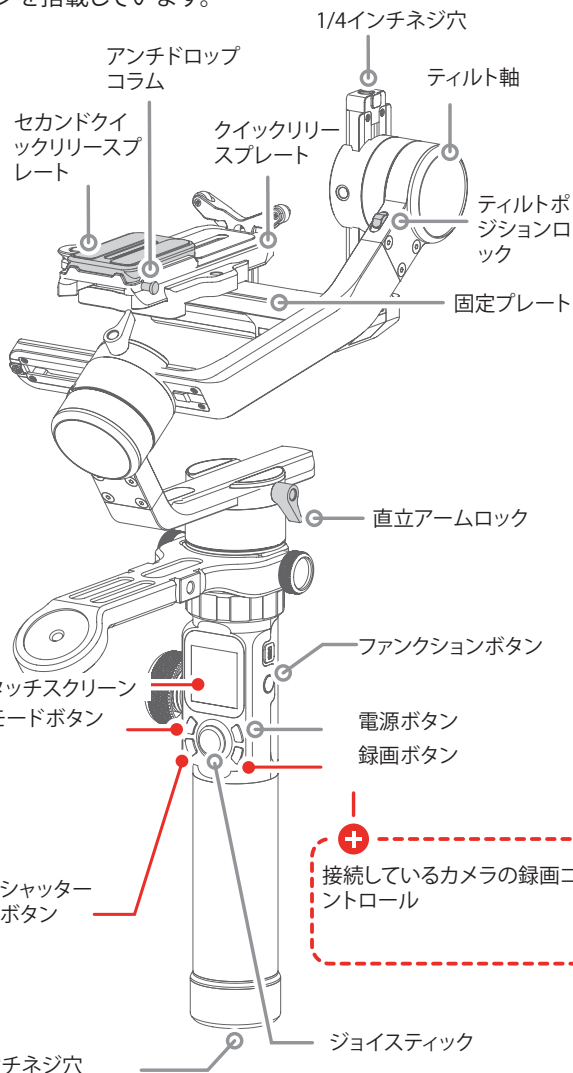
- 📷 カメラ撮影モード
- 📶 Bluetooth
- 🔄 マルチファンクションノブコントロール
- 🔋 バッテリーレベル



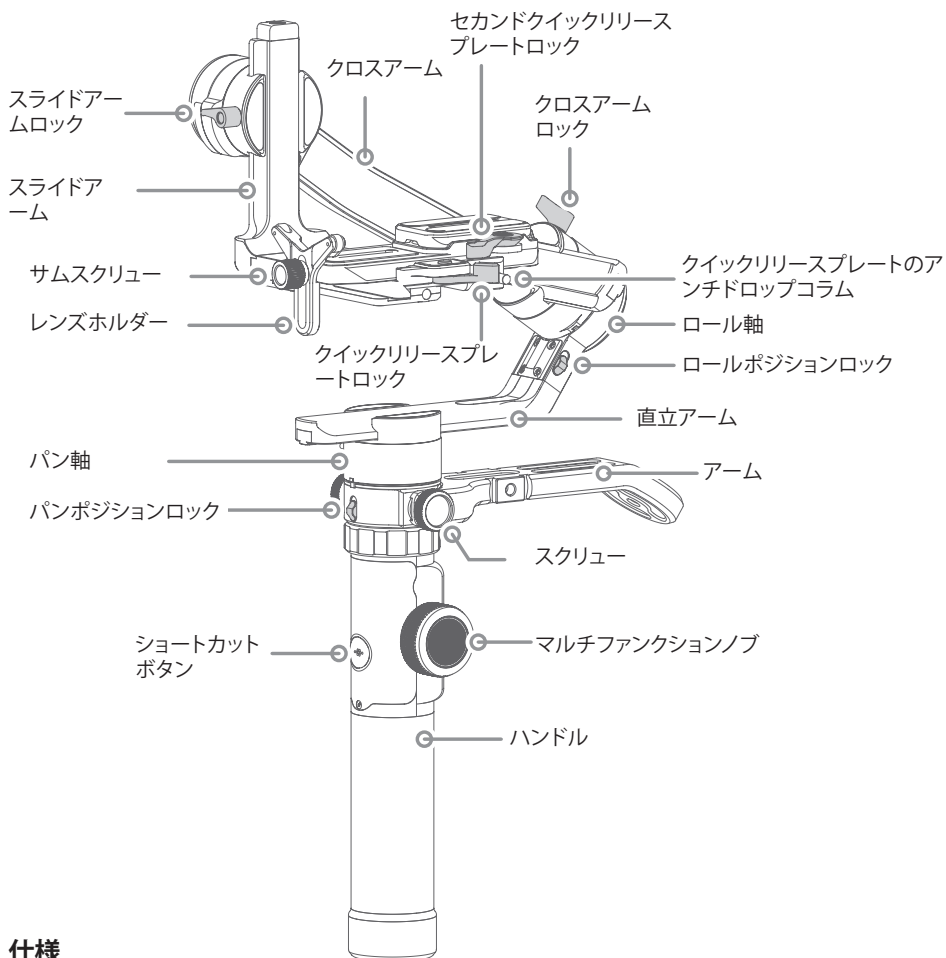
- 🔒 ロックモード
- 🔄 パンモード
- 👁️ フォローモード
- 🌀 オールフォローモード

モードの切り替え

接続しているカメラのシャッター制御



接続しているカメラの録画コントロール



## 仕様

最大ティルト範囲	230°	駆動時間	最大12時間
最大ローリング範囲	360°	重量	約1656g(電池含まず)
最大パニング範囲	360°	耐荷重	最大4600g
ティルト速度	2°/s ~ 75°/s	対応カメラ*	Canon、Sony、Panasonic、他
パン速度	3°/s ~ 150°/s		

本製品にはカメラは含まれていません。

## 付属品



USBケーブル (A to Micro)  
x1



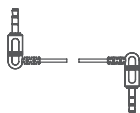
18650 リチウムイオン電池  
x4



三脚  
x1



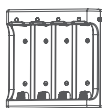
マルチファンクションブラケット  
x1



パナソニックLUMIXシャッターケーブル  
x1



多目的アーム  
x1



充電器  
x1

## カメラコントロールケーブル



USB 2.0 (A to Micro)  
x1



USB 2.0 (A to Mini)  
x1



USB 3.0 (A to Micro)  
x1



USB 2.0 (A to C)  
x1

## 2. 使用を開始する

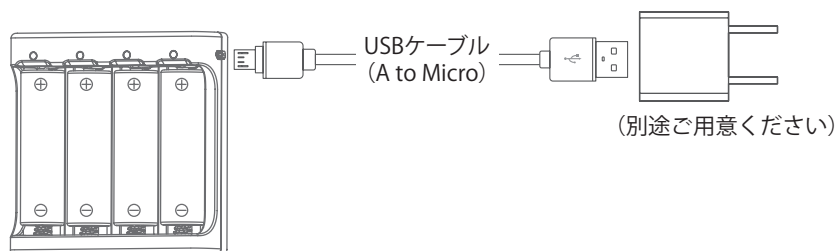
### ご注意

- (1) ジンバルの電源を入れる前に、カメラを取り付けてください。
- (2) バッテリー残量が少ない場合は、はじめに充電をしてください。
- (3) 使用していないときは、ジンバルの電源を切り、バッテリーを取り出してください。
- (4) 本製品の基本的な使い方については、以下の手順に従ってください。

### 2.1 バッテリー充電

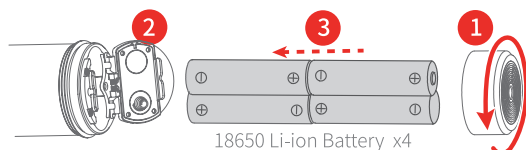
バッテリー充電には充電器を使用します。

\*初めてジンバルに電源を入れるときは、あらかじめバッテリーを完全に充電してください。



### 2.2 バッテリー挿入

テールキャップを外し、バッテリーカバーを開け、バッテリーを正しい向きで挿入します。

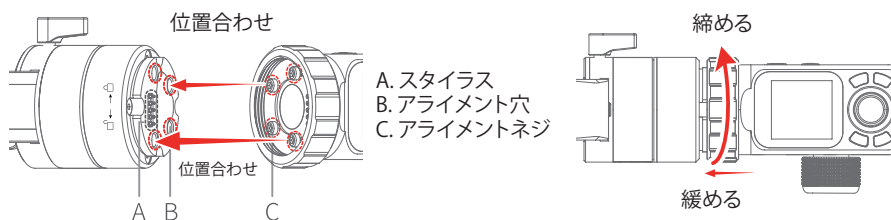


**!** 初めてジンバルに電源を入れるときは、あらかじめバッテリーを完全に充電してください。

## 2.3 ハンドルの取り付け

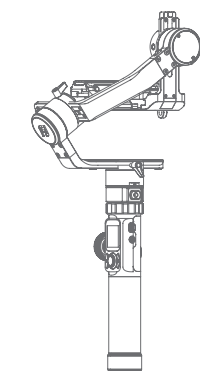
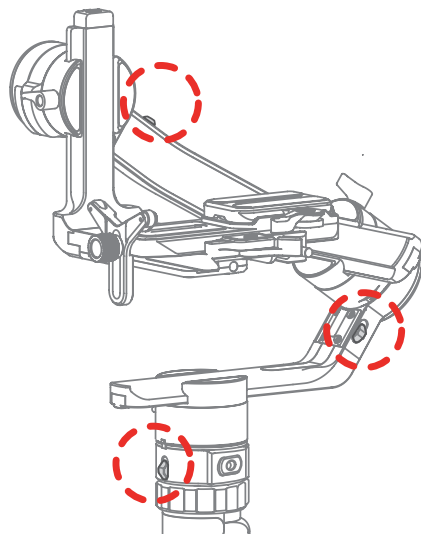
ハンドルのアライメントネジと、それに対応するパン軸下部のアライメント穴を合わせ、固定リングを締めます。

**⚠** 4か所のアライメントネジと、それに対応するアライメント穴を合わせてから、固定リングを締める必要があります。

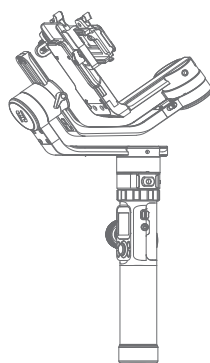


## 2.4 ポジションロック

3つの回転軸にはそれぞれ、位置調整や収納に便利なポジションロックが備わっています。ジンバルを使用する前に、必ずポジションロックを解除してください。



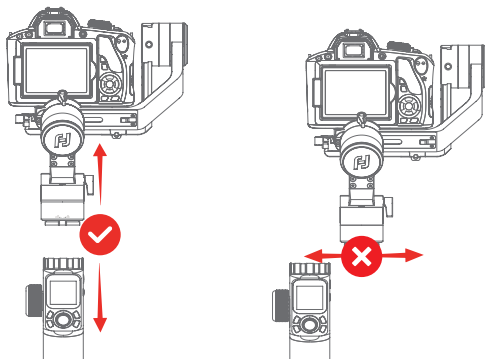
バランスロックポジション



ストアロックポジション



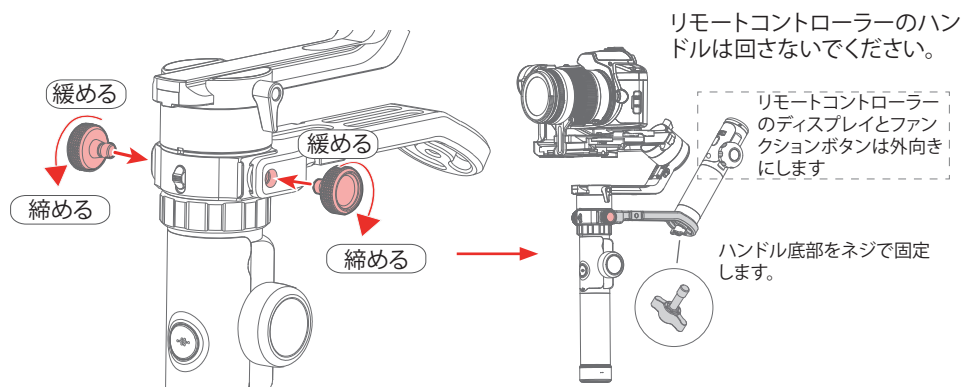
ハンドルを取り付ける/取り外す際には、必ずジンバルを垂直位置に保ってください。  
スタイラスの損傷防止のため、左右に動かさないでください。



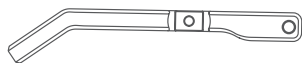
## 2.5 多目的アームの取り付け

多目的アームを図示の通り取り付け、アームとジンバルのハンドルのネジ穴の位置を合わせてから、左右でネジを締めます。テール部には、三脚を直接固定することもできます。

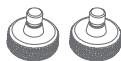
リモートコントローラーや1/4インチネジ穴のある他のアクセサリーの取り付けには、長い方のネジを使用します。



### 必要な付属品:



多目的アーム  
X1

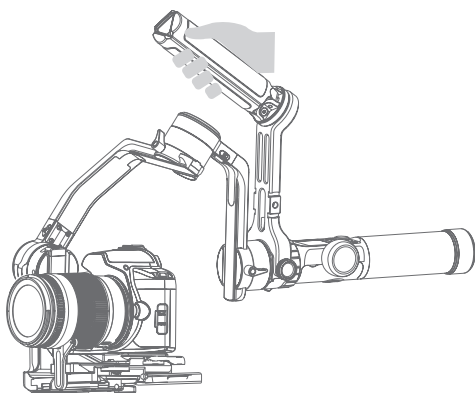


固定ネジ  
X2



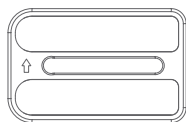
ネジ  
X1

- 多目的アームを取り付けると、ローアングル撮影に使用できます。



## 2.6 カメラの設置

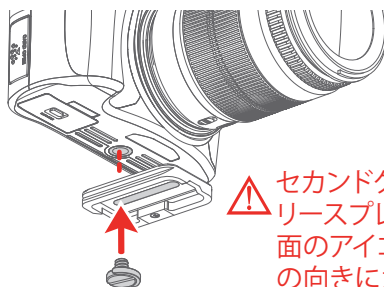
(1) クイックリリースプレートを固定プレートに取り付け、セカンドクイックリリースプレートを取り出します。



セカンドクイックリリースプレート

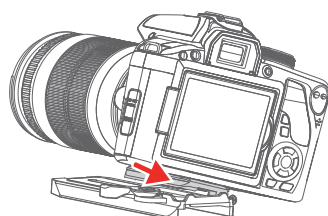
⚠ カメラを取り付ける前に、バッテリーとメモリーカードがセットされていることを確認してください。

(2) セカンドクイックリリースプレートをカメラ底面に固定します。



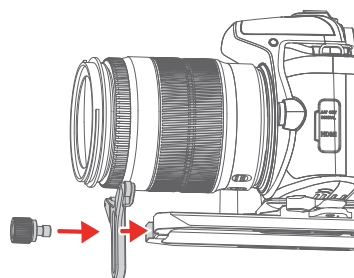
⚠ セカンドクイックリリースプレート裏面のアイコン ( ) の向きにカメラを取り付けてください。

(3) セカンドクイックリリースプレートを挿入し、押し下げます。セカンドクイックリリースプレートロックが自動的にロックされます。



セカンドクイックリリースプレートを挿入します。

(4) レンズをしっかりと支持できるように、レンズホルダーを取り付けます。



## 2.7 ジンバルのバランス調整

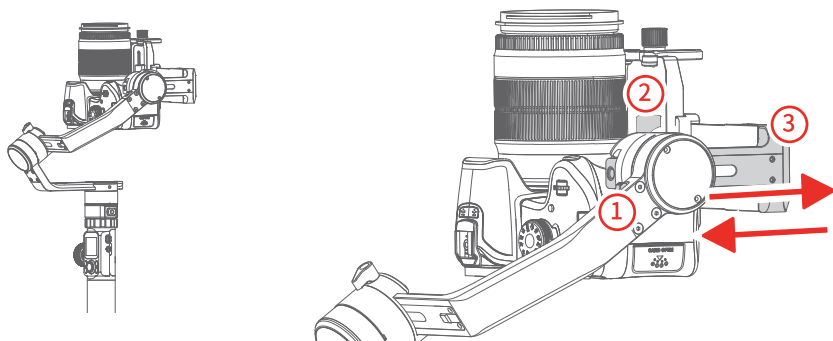
**⚠** バランス調整を行う前に、ジンバルをバランスロックポジションでロックしてください。バランス調整の過程で段階的に各軸のロックを解除していきます。

### ご注意

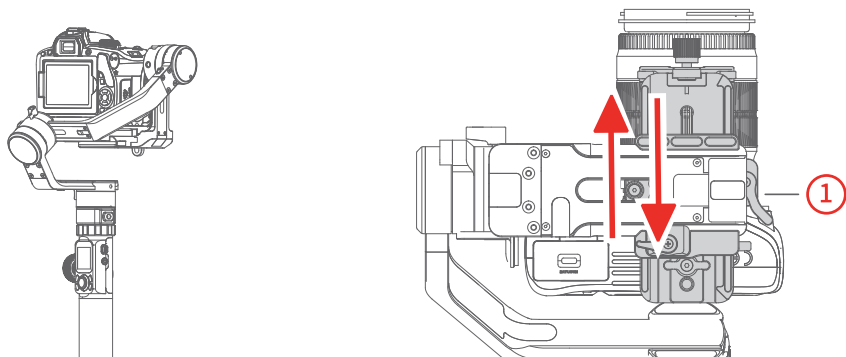
- (1) ジンバルのバランス調整を行う前に、カメラのレンズキャップを取り外し、メモリーカードを挿入し、必要なケーブルの接続を完了してください。
- (2) ジンバルのバランス調整の実行中は、カメラとジンバルの電源をオフにしてください。
- (3) バランス調整後にアクセサリーを追加した場合は、再度バランス調整を行ってください。

### 2.7.1 ティルトバランス調整

- (1) **a.** ティルトポジションロック①を解除し、カメラレンズを垂直上向きにして、カメラの重心を確認します。
- b.** スライドアームロック②を緩め、スライドアーム③をスライドさせてカメラのバランスを取ります。
- c.** スライドアームロック②を締め、カメラレンズが垂直上向きになっていればバランスが取れていることとなります。

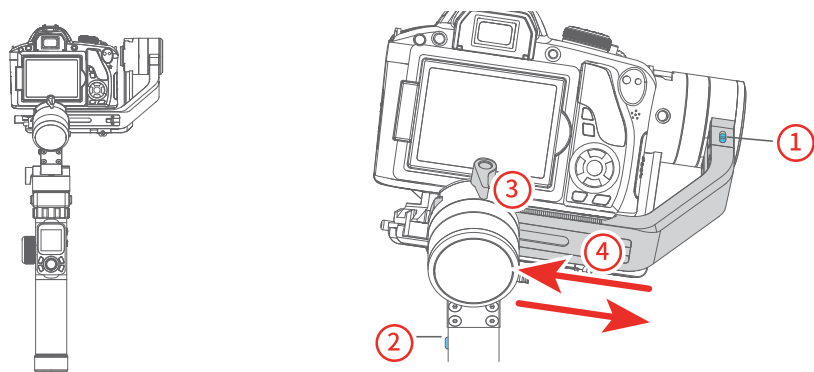


- (2) a. カメラレンズを前方に向け、カメラの重心を確認します。  
 b. クイックリリースプレートロック①を解除し、カメラの前後バランスを調整します。  
 c. クイックリリースプレートロック①を締め、カメラを上下に傾けても安定していればバランスが取れていることとなります。



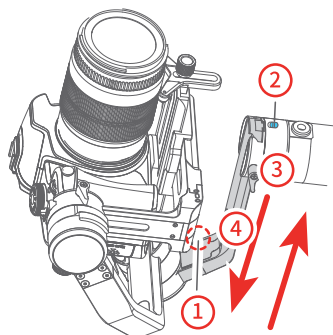
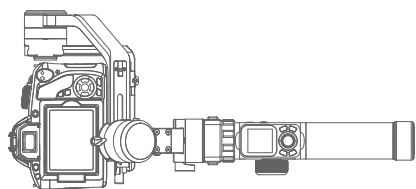
### 2.7.2 ロールバランス調整

- a. ティルトポジションロック①を締め、ロールポジションロック②を解除し、カメラの傾き状態を観察します。  
 b. クロスアームロック③を緩め、クロスアーム④をスライドさせてカメラの左右バランスを取ります。  
 c. クロスアームロック③を締め、カメラを左右に傾けても安定していればバランスが取れていることとなります。




### 2.7.3 パンバランス調整

- a. ロールポジションロック①を締め、パンポジションロック②を緩め、ジンバルのハンドルを地面と平行に、直立アームを地面と平行にして、カメラのバランスを確認します。
- b. 直立アームロック③を緩め、直立アーム④をスライドさせてカメラのバランスを取ります。
- c. 直立アームロック③を締めてパン軸を任意の角度に傾けても安定していればバランスが取れていることになります。



## 2.8 電源オン/オフ

 ジンバルの電源を入れる前に、すべてのポジションロックを解除してください。

ディスプレイに  マークが表示されるまで電源ボタンを長押しします。



## 2.9 Manfrotto Gimbal Appのダウンロード



Manfrotto Gimbal Appをダウンロードしてご利用ください。



### 3. アプリの接続

- (1) スマートフォンのBluetoothをオンにし、ジンバルの電源を入れます。
- (2) アプリを開き、アプリに表示される指示に従ってMVG460に接続します。接続が完了すると、アプリからジンバルのリモート制御が可能になります。

#### Manfrotto Gimbal Appの接続

- (1) ジンバルの電源を入れます。
- (2) スマートフォンでBluetoothをオンにし、Manfrotto Gimbal Appを開きます。ログインまたは登録を行い、指示に従ってジンバルに接続します。正常に接続されると、アプリからジンバルの方向制御、モード切り替え、パラメータ設定などが可能になります。



## 4. 各種機能の操作

### 4.1 機能/モード概要

#### ① パンモード（デフォルトモード）

ロール軸およびティルト軸が固定され、ユーザーの手の左右の動きに従ってカメラが動きます。

#### ② フォローモード

ロール軸が固定され、ユーザーの手の左右および上下の動きに従ってカメラが動きます。

#### ③ オールフォローモード

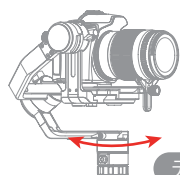
ユーザーの手の動きに従ってカメラが動きます。

#### ④ ロックモード

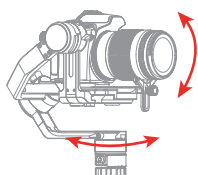
カメラの方向が固定されます。

#### ⑤ リセット

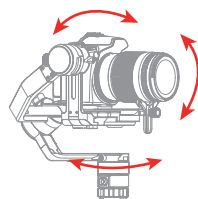
パンモードに戻り、3軸はデフォルトポジションに戻ります。



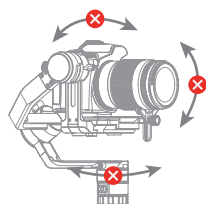
①



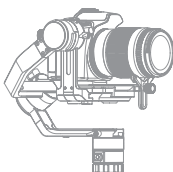
②



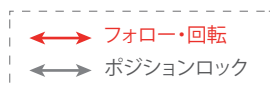
③



④



⑤



## ⑥ 手動ロック

ティルト軸を任意の角度まで手で回転させます。

## ⑦ 自動回転

自動回転モードは、タイムラプス撮影と連携して使用する機能です。ルートと時間を設定することができます。

## ⑧ インセプションモード

インセプションモードに切り替えるには、“360 rotation” (360°回転) をタップします。回転の速度と方向を設定することができます。

## ⑨ Selfie Mode

自撮り用に、カメラが水平方向に180°回転します。


## ⑩ 縦向き撮影モード

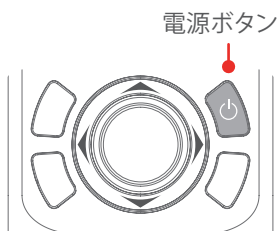
縦向き撮影に切り替えるには“Portrait” (縦向き撮影) をタップします。

## 4.2 ボタン操作概要

### 4.2.1 電源ボタン

長押し — 電源オン/オフ

ディスプレイに  が表示されるまで電源ボタンを長押しします。



### 4.2.2 モードボタン

1回押下 — パンモード/ロックモード切替

1回押すと、モードがパンモード/ロックモード間で切り替わります。





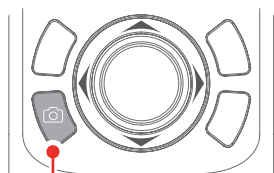
### 4.2.3 シャッターボタン

1回押下 — フォーカスを合わせます。写真を撮影するには3秒以内にもう一度押します。

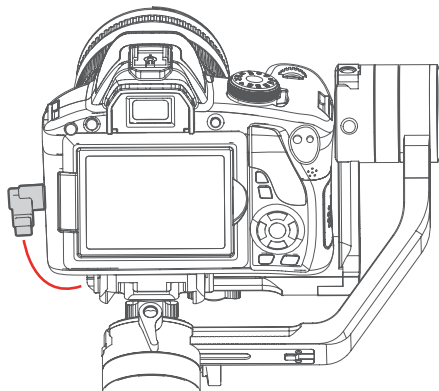
長押し — バーストモード

**マニュアル  
シャッター** シャッターボタンを1回押してフォーカスを合わせ、3秒以内にもう一度押して写真を撮影します。フォーカスを合わせるためにボタンを押してから3秒以内に操作がない場合、フォーカス状態がクリアされま

す。  
\*カメラシャッターケーブルを接続する必要があります。



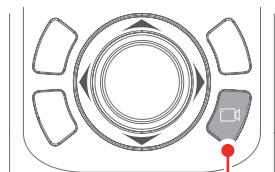
シャッターボ  
タン



シャッターケーブル接続図

### 4.2.4 録画ボタン

1回押下 — 録画を開始/停止します。



録画ボタン

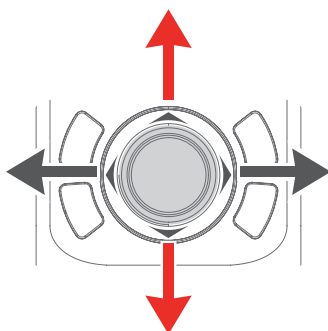
## 4.2.5 ジョイスティック

### 上方向

- (1) カメラを上方向に旋回
- (2) 上にあるオプションを選択

### 左に動かす

- (1) カメラを左方向に旋回
- (2) 左にあるオプションを選択



### 右に動かす

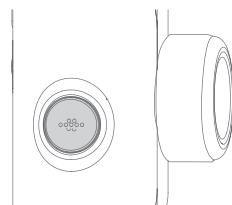
- (1) カメラを右方向に旋回
- (2) 右にあるオプションを選択

### 下方向

- (1) カメラを下方向に旋回
- (2) 下にあるオプションを選択

## 4.2.6 ショートカットボタン

- 長押し — フォローモード
- 2回押下 — リセット



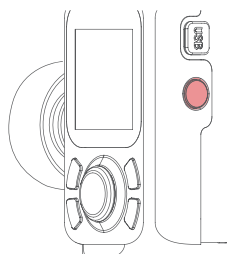
## 4.2.7 ファンクションボタン

- 1回押下 — 戻る/画面ロック/画面ロック解除

ファンクションボタンを1回押すと、メイン画面に戻ります。

メイン画面でファンクションボタンを1回押すと、画面がロック/ロック解除されます。

画面がロックされていると、タッチ操作は無効になります。操作を再開するには、画面のロックを解除する必要があります。

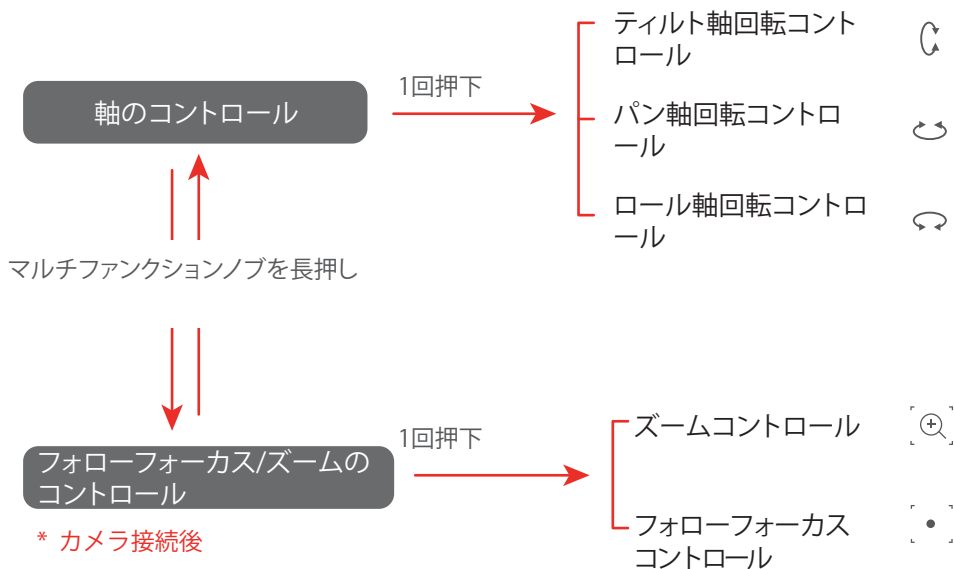


## 4.2.8 マルチファンクションノブ

回転 — 軸の回転/フォーフォーカスまたはズームの制御

長押し — フォーフォーカスまたはズーム/軸の操作の切り替え

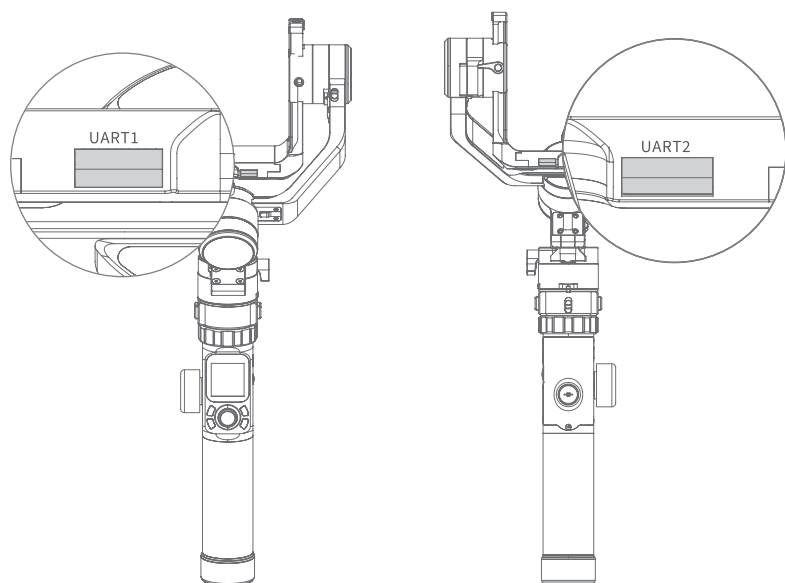
1回押下 — 制御対象の切り替え



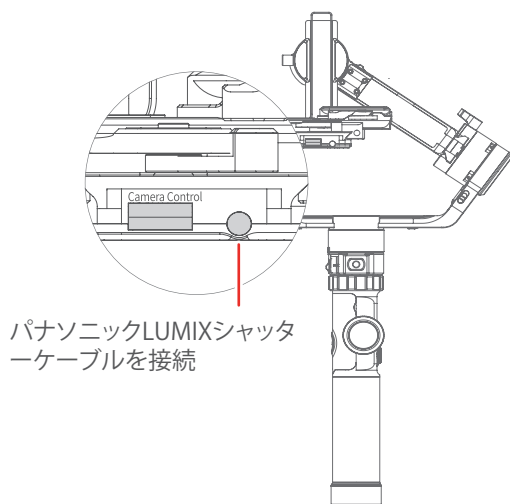
### 4.3 USBポート

固定プレートにはUSBポートがあり、カメラを接続して撮影/録画や、一部カメラではフォーカス調整を制御することができます。

- UART1/UART2ポートはオートフォーカスの接続に使用できます。

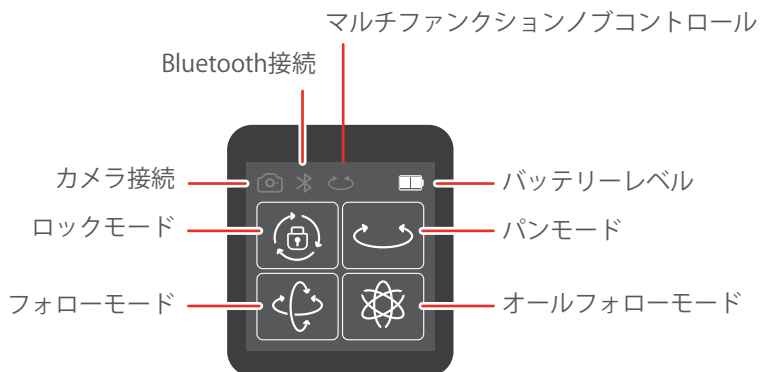


- カメラ制御用のUSBポートでは、USB 2.0 (A to C)、USB 2.0 (A to Mini)、USB 3.0 (A to Micro)を使用できます。パナソニックLUMIXシャッターケーブルの接続には3.5mmジャックを使用します。



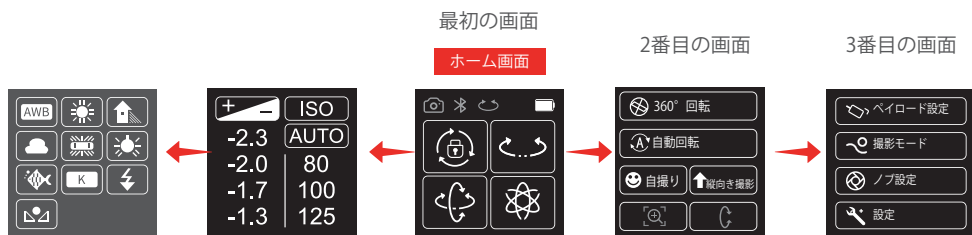
## 4.4 タッチスクリーン

### 画面インターフェース



表示アイコン	モード/ステータス	表示アイコン	モード/ステータス
✳	Bluetooth接続済み	↺	パンモード
✳	Bluetooth未接続	↻	フォローモード
🔋	バッテリーレベル	🌀	オールフォローモード
📷	カメラ接続済み	🔒	ロックモード
📷	カメラ未接続	↻	ティルト軸有効
↺	マルチファンクションノブコントロール有効	↺	ロール軸有効
↻	マルチファンクションノブコントロール無効	↺	パン軸有効
🔍	ズームのステータス		
📍	フォローフォーカスのステータス		

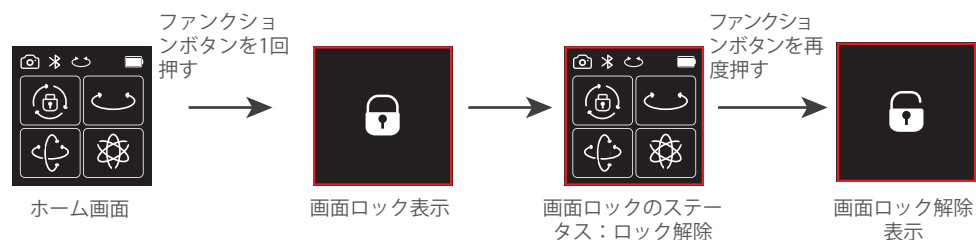
## 画面切り替え



タッチスクリーンの一般的な操作

- ← 左にスワイプ — 右の画面に切り替え
- 右にスワイプ — 左の画面に切り替え/前に戻る
- タップ — そのオプションを選択する

## 画面ロック/ロック解除



## 4.5 各種モードの設定

### 4.5.1 自動回転モードの設定

「自動回転モード」の章(24ページ)をご覧ください。



## 4.5.2 インセプションモードの設定

"360 rotation" (360°回転) をタップしてインセプションモードに入ります。ジンバルを水平に持ち、スクリーン上で回転の速度/方向を設定します。設定を入力すると、自動的に開始します。



## 4.5.3 縦向き撮影モード

ジンバルを水平に持ち、"Portrait" (縦向き撮影) を選択して縦向き撮影モードに切り替えると、ジンバルがカメラを縦向きに回転させます。



## 4.5.4 その他の設定

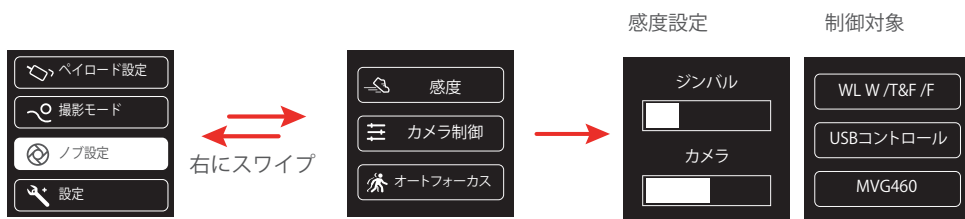
カメラ重量に応じてモーター出力を調整することができます。



シーンモードを設定することができます。



感度を高くすると、ジンバル/カメラの反応が速くなります。



## システム設定



## 4.6 自動回転モード

自動回転モードのパラメータ設定

方法1:

モーションタイムラプスモードのパラメータを設定するには、Manfrotto Gimbal Appを起動します。

パラメータ設定画面に移動し、モーションタイムラプスモードを選択します。最大撮影間隔は59秒、長時間露光撮影の最大待機時間は58秒です。

(注記:撮影間隔は、撮影待機時間より長く、パンまたはティルトの回転時間より短く設定する必要があります。)



方法2:

タッチスクリーン上でMotion Timelapse(モーションタイムラプス)画面を開き、モーションタイムラプスモードのパラメータを設定します。

ジョイスティック操作、またはタッチスクリーン上で時間設定パラメータをセットアップします。





表示アイコン	モード/ステータス	最小値	最大値
PAN (T1)	パン軸の回転時間	00:00:00	07:59:59
TILT (T2)	ティルト軸の回転時間	00:00:00	07:59:59
INVL (t)	撮影間隔	00:00:00	00:00:59
DWELL (P)	撮影待機時間	00:00:00	00:00:58

\* T1/T2 > t > P

PAN:パン軸が開始点から終了点まで回転するのにかかる時間。

TILT:ティルト軸が開始点から終了点まで回転するのにかかる時間。

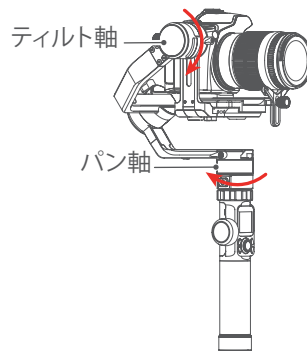
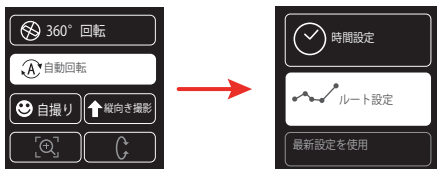
INVL:撮影終了から次の撮影までの間隔。

DWELL:長時間露光撮影開始からのジンバルの待機時間。

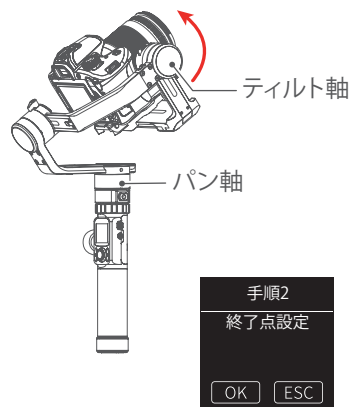
## 自動回転モードの設定

(1)スクリーン上でAuto-rotation (自動回転) を選択して自動回転モードに切り替えます。

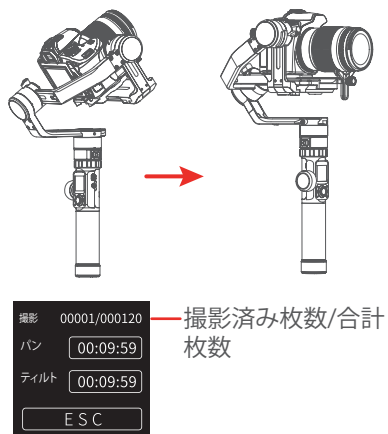
(2) 回転開始位置を設定します。  
パン軸またはティルト軸を開始位置まで回転させ、そのまま0.5秒保持。スクリーン上でOKをタップして開始位置を記憶させます。



(3) 回転終了位置を設定します。  
 パン軸またはティルト軸を終了位置まで回転させ、そのまま0.5秒保持。スクリーン上で再度OKをタップして終了位置を記憶させます。



(4) 自動回転動作開始。  
 ジンバルが自動的に開始位置に戻り、設定されたパラメータに従って、ティルト軸とパン軸が回転を開始し、終了位置で停止します。



終了 → ショートカットボタンを2回押すか、スクリーン上でESCをタップします

→ 自動回転モードが終了し、リセットされます

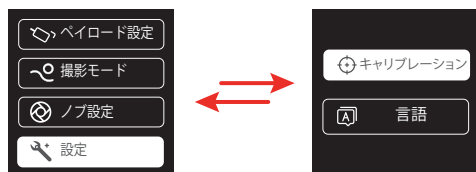
## 4.7 ジンバルの初期化

次のような場合には、ジンバルの初期化を行います。

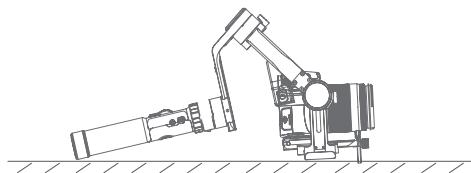
- (1) カメラのバランス調整が取れていない場合
- (2) ジンバルを長期間使用していなかった場合
- (3) 極端な温度変化がある環境で使用する場合

手順:

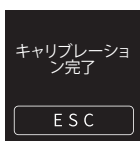
(1) スクリーン上でSettings (設定)、Calibration (キャリブレーション) の順に選択して、ジンバルの初期化を起動します。



(2)ジンバルをテーブルに置くと、自動的に初期化を開始します。  
タッチスクリーン上にキャリブレーション完了のメッセージが表示されれば初期化は終了です。メッセージが表示されない場合は、初期化失敗です。

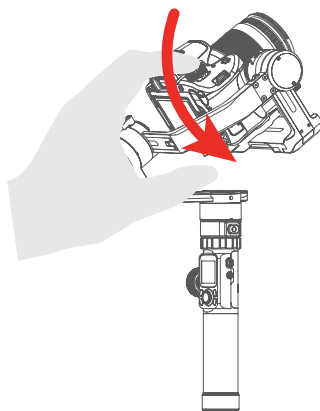


(3) 初期化が完了したら、タッチスクリーンを左右にスワイプするか、スクリーン上の“ESC”をタップしてジンバルを起動してください。



## 4.8 手動ロック

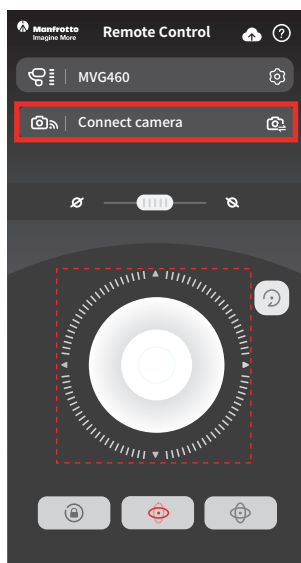
手動でカメラを任意の位置に動かし、そのまま0.5秒間保持すると、新しいティルト/パンポジションが自動的に記憶されます。




## 5. Wi-Fiを介したカメラへの接続


### カメラへのWi-Fi接続

- (1) ジンバルの電源を入れます。
- (2) Bluetoothをオンにし、Manfrotto Gimbal Appを起動します。このアプリは自動的にBluetooth信号が最も強力なジンバルと自動的に接続します。正常に接続されると、スクリーン上のBluetoothアイコン  が点灯します。
- (3) カメラのWi-Fi名とパスワードを入手します。
- (4) Manfrotto Gimbal Appを起動し、バーチャルジョイスティックでカメラ接続アイコン  を選択します。該当するカメラブランドとご使用のカメラを選択します。カメラの正しいWi-Fi名を選択し、パスワードを入力します。



5～10秒待機して正常に接続されると、カメラの画面に対応するヒントや変更内容が表示されます (Canon製カメラでは“confirm”(確定)をタップする必要があります)。それからメインの撮影画面に自動的に戻ります。同時に、ジンバルのタッチスクリーン上でカメラアイコン  が点灯します。これで接続完了です。接続後はアプリを終了することができます。

### カメラへのWi-Fi再接続

カメラWi-Fiとの接続がいったん正常に確立されると、ジンバルはそのカメラのWi-Fi名とパスワードを記憶します。以前に接続したカメラに再度接続するには、カメラのWi-Fi接続インターフェースを開きます。そうすると、ジンバルが自動的に接続を確立します。ジンバルのタッチスクリーン上のカメラアイコン  が点灯すると、カメラのコントロールが可能になります。

### カメラの接続に失敗する場合

アプリのインターフェースでWi-Fi名の選択を誤ったり、パスワードの入力を間違えたり (大文字と小文字は区別しません)、ジンバルのWi-Fiが使用されている場合には

カメラの接続に失敗する場合があります。  
その場合はWi-Fi名とパスワードが正しく入力されていることを確認してください。  
それでも接続に失敗する場合は、Wi-Fi接続をいったん解除してから再度接続してください。

## Wi-Fi接続解除

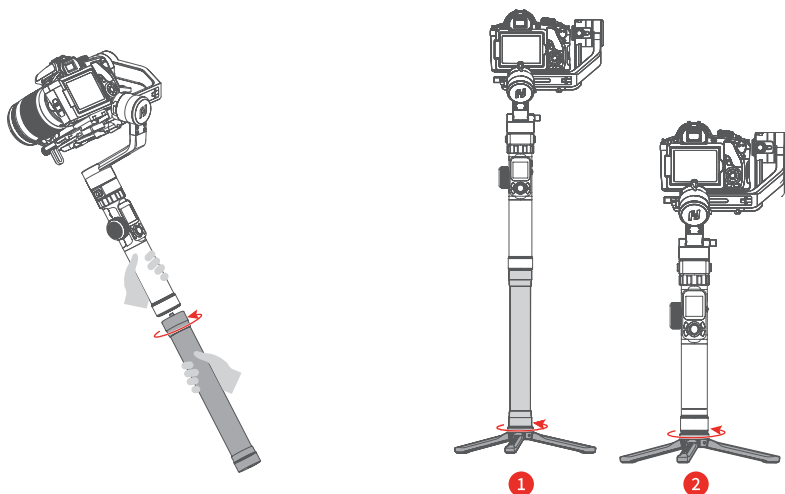
ジンバルがカメラに接続できない場合や、ジンバルが新しいカメラに接続する必要がある場合は、現在のWi-Fi接続を解除します。  
接続解除方法:ジンバルの電源が入ったままの状態、タッチスクリーン上を左方向にスワイプして設定メニューを開きます。背面のトリガーボタンを押したままジョイスティックを上方向に動かしてスクリーン上の“system setting”(システム設定)を選択します。“Clear Wi-Fi”(Wi-Fi接続解除)をタップすると、接続解除が完了します。



## 6. 付属品概要

### 6.1 付属品

#### 6.1.1 延長ロッド、三脚



## 免責事項

マンフロット製ジンバルをご利用いただきありがとうございます。本書に記載の情報は、お客様の安全ならびに法的な権利および責任にかかわるものです。ご使用前に、構成・設定が正しいことを確認するために、本書のすべての記載内容をよくお読みください。本書の説明および警告事項に従わない場合は、お客様ご自身や他の方が重傷を負ったり、ご使用の製品の損傷や周囲にある他の物に損傷を及ぼす可能性があります。

本製品の使用にあたり、お客様は、本免責事項および警告事項をよくお読みになり、本免責事項および警告事項に記載のご利用規約に同意するものといたします。また、本製品のご使用中の行動およびそのいかなる結果についても、お客様ご自身が全責任を負うことに同意されるものとします。お客様は、適切かつ適用される法律および規則、ならびにManfrottoが提供するすべての条件、注意、慣行、ポリシーおよびガイドラインに合致する目的でのみ本製品を使用することに同意されるものとします。Manfrottoは、製品の使用により直接または間接的に生じた損害、負傷、またはいかなる法的責任についても、一切の法的責任を負いません。

Manfrottoは非正規の経路から入手されたいかなる製品に対しても、いかなるサービスも提供しません。

## ❗ 注意

- 1.製品の電源がオンの状態で、モーターの回転が外部からの力によって妨げられないように注意してください。
- 2.防水仕様/防滴仕様でないジンバルは、水や他の液体に接触しないようにしてください。防水仕様/防滴仕様の製品は、海水や他の腐食性液体に接触しないようにしてください。
- 3.取り外し可能とされている場合を除き、ジンバルを分解しないでください。製品を誤って分解してしまい、動作に異常が生じた場合は、修理のためマンフロットのサービスセンターまたは認定サービスセンターへの返送が必要となります。それに関して生じる費用は、お客様にご負担いただくこととなります。
- 4.製品を長時間にわたり連続使用すると、モーターの表面温度が上昇することがあるため、操作にはご注意ください。

## ♡ 保管とメンテナンス

- 1.ジンバルやバッテリーはお子様やペットの手の届かない場所に保管してください。
- 2.ジンバルやバッテリーを電熱器やヒーターのような熱源の近くに放置しないでください。気温の高い日にジンバルやバッテリーを車の中に放置しないでください。
- 3.バッテリーは乾燥した場所に保管してください。
- 4.バッテリーを過充電したり、過剰使用したりしないでください。バッテリーコアの損傷を引き起こすおそれがあります。
- 5.気温が極端に高い/低い日は、絶対にジンバルやバッテリーを使用しないでください。
- 6.ジンバルを長期間使用しない場合は、バッテリーを取り出してください。

## ① バッテリーの安全に関するガイドライン

1.火災、重度の負傷、物的損害を防ぐため、バッテリーの使用、充電、保管に際しては下記の安全に関するガイドラインに従ってください。

(1) バッテリーはいかなる液体にも接触させないでください。バッテリーを雨の中や水分の発生源の近くに放置しないでください。バッテリーを水の中に入れてください。

(2) 誤ってバッテリーが水中に落下してしまった場合は、すぐに安全かつ開けた場所に置いてください。バッテリーが完全に乾くまで、安全距離を保ってください。そのバッテリーは絶対に再利用しないでください。

(3) バッテリーが発火した場合は、水、噴霧器、砂、消火布、乾燥粉末、二酸化炭素消火器を使用してすぐに消火してください。大きな火に接触すると、爆発の危険性が高くなります。実際の状況に応じて、上記の推奨事項に従って消火手段を選択してください。

(4) 膨張、液漏れ、損傷のあるバッテリーを使用したり充電したりしないでください。

(5) バッテリーは絶対に分解したり穴を開けたりしないでください。液漏れが発生するおそれがあります。

(6) バッテリーを落としたり、ぶついたりしないでください。バッテリーや充電器の上に重い物をのせないでください。

(7) 落としたバッテリーは使用しないでください。

(8) バッテリーを加熱しないでください。

(9) 強い静電環境や電磁環境でバッテリーを使用しないでください。このような環境でバッテリーを使用すると、バッテリーがショートする可能性があります。

(10) バッテリー内の電解液には極めて高い腐食性があります。電解液が皮膚に触れたり、眼に入ったりした場合は、ただちに清潔な流水で15分以上洗い流してください。また、すぐに医師の診察を受けてください。

(11) マンフロットが提供する正規品のバッテリーを使用してください。バッテリーの交換が必要な場合は、マンフロット公式ウェブサイトまたは認定ディーラーからご購入ください。非正規のバッテリー使用に起因するバッテリーの自己および機器の不具合について、マンフロットは責任を負いません。

2.バッテリーを落としたり、ぶついたりしないでください。バッテリーに異常が生じた場合は、マンフロットのサービスセンターにご連絡ください。





